

平成 2 3 年度事務事業評価調書

平成 2 3 年度作成

平成 2 2 年度 実施事業	<b>事務事業名</b> 「ほん」との出会い、ふれ愛、語り合い
-------------------	---------------------------------

区分	番号	名称
章	5	豊かな個性と人間性を育むまち
節	1	生涯にわたって学び続ける社会をつくる
施策	1	市民の主体的な学習の推進
小分類	2	生涯学習環境の充実
主要な施策	3	図書館機能の充実
事務事業番号	012	事務事業コード 51123012 事業開始年度 平成 2 2 年度 事業終了年度 平成 2 3 年度

会計種別	一般会計	予算書上の事務事業名	「ほん」との出会い、ふれ愛、語り合い
------	------	------------	--------------------

部 名	教育部	グループ名	図書館
-----	-----	-------	-----

統合前または名称変更前の事業名	
-----------------	--

事務事業の目的と成果

目的	<p style="background-color: #fff9c4; margin: 0;">（事務事業の実施目的を具体的に記載してください）</p> <p>赤ちゃんからお年寄りまで、すべての市民を対象に、本との出会い、ふれあいを通して、感性を豊かにするとともに図書館に対する関心を高める。</p>
手段（事業の内容・活動）	<p style="background-color: #fff9c4; margin: 0;">（目的を達成するためにどのような手法で行うのか、事業の概要を具体的に記載してください）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・先進都市ライブラリーツアー</li> <li>・講演会（絵本、童話作家等の講演会）</li> <li>・しかけ絵本等の展示</li> </ul>
成果	<p style="background-color: #fff9c4; margin: 0;">（事務事業の実施成果を具体的に記載してください）</p> <p>珍しい絵本・美術書・掛け軸等の展示や講演会の実施により、幅広い年齢層の市民に、本の楽しみ方や文化に親しむ機会を作ることができた。 また、著名絵本作家等を招いての講演会及び原画展示といった事業は、本図書館においては貴重な体験であり、職員のノウハウ蓄積や資質向上に大いに寄与するものである。</p>
根拠法令等	<p style="background-color: #fff9c4; margin: 0;">（事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称をすべて記載してください）</p>

指標の推移

区 分		単位	区分	22年度 実績	23年度 目標	24年度 目標	25年度 目標	26年度 目標
成果 指標	実施行事等	件	目標値	7	7			
			実績値	7				
	行事等の参加者	人	目標値	1,000	1,000			
			実績値	2,035				

事業費の推移

区 分			単位	22年度 決算	23年度 当初予算	24年度 見込	25年度 見込	26年度 見込	24～26 年度
事業の 財源内訳	国庫支出金	名称	千円						0
	道支出金	名称	千円						0
	地方債	名称	千円						0
	その他	名称	千円						0
	一般財源	名称	千円	633	700				0
合 計				633	700	0	0	0	0
(参考) 上記事業を実施する上で 必要となる人件費			職 員	千円	850	872			
			嘱 託 員	千円	0	0			
			臨時職員	千円	0	0			
			合 計		850	872			

担当グループによる事務事業評価の内容

1. 事務事業の妥当性について			
今後も市が事業主体として実施していくことは妥当ですか？	→	妥当である 妥当ではない	→ 妥当である理由、妥当ではない理由は何ですか？ 市民の多くの方に、図書館が持つ機能を伝え、より気軽に利用してもらえるようにするため、本事業を継続実施していく必要性があると考えます。
2. 事務事業の成果について			
成果はあがっていますか？	→	成果があがっている どちらかといえばあがっている 成果があがらない	→ 成果があがっている理由、あがらない理由は何ですか？ 日常生活の中で心が潤う時間や、読書を楽しむ図書館を利用しようという思いを起こすきっかけを与えることができたと考えている。
3. 事務事業の成果向上について			
成果を向上させることはできますか？	→	大きく向上させることができる 少し向上させることができる 向上させることはできない	→ どのようにして向上させますか？ 向上させることができない理由は何ですか？ 実施行事の内容・時期・場所等をさらに検討することより、参加者の増加につなげられる可能性があると思われる。
4. 事務事業の経済性・効率性について			
成果を落とさずにコスト（予算や人工、所要時間）を削減することはできますか？	→	削減できる 削減できない	→ どのような方法でコストを削減しますか？ 削減できない理由は何ですか？ 講演会や原画展示等の行事の開催回数を減少するなど、規模を縮小することで経費節減を図る。

担当グループによる評価

終 了	左記の評価を選択した具体的な理由（根拠）	図書館をいろいろな手法で紹介することで、市民の多くの方に図書館を身近な存在として感じてもらい、図書館を訪れる市民を少しでも増やしていきたい。また、これにより、普段知られていない図書館の別の機能を知ってもらいたい。 なお、平成23年度実施をもって明日のまちづくり特別枠事業としての実施は終了し、平成24年度以降は定期的に実施していくため、予算規模を縮小するなど、内容精査のうえ、事業を展開していく。
-----	----------------------	---

総合的な評価（当該事務事業の方向性）

終 了	備考
-----	----

評価の種類

- 拡大（事務事業の規模や経費を拡大し、これまで以上に強力で推進する事務事業）
- 維持（現状の対象や目指す姿、手段などに変更が無く、今後も実施する事務事業）
- 改善（現状の手段や経費などを見直し、成果指標の向上等を行う必要がある事務事業）
- 休止（暫定的に休止する事務事業）
- 終了（当初から決められていた事業期間が終了または成果品等が完成し、目的を果たした事務事業）
- 廃止（当該事務事業の予定を変更し、廃止する事務事業）